参考資料2

# 成人期発達障がい者の相談対応に関するアンケート

## 【アンケート回答における留意事項】

- \*アンケート実施の主旨につきましては、別添依頼文をご確認ください。
- \*本アンケートの調査対象が同一法人の場合は、法人毎ではなく事業所毎にご回答ください。
- \*ご記入いただきました本アンケート用紙は、同封いたしました返信用封筒にて、
  - 11月17日(火)までにご投函ください。

## 【アンケートに関するお問い合わせ先】

〒532-0023 大阪市淀川区十三東 1-1-6 社会福祉法人北摂杉の子会 大阪府発達がい者支援センター アクトおおさか

担当者:岩城•柳屋

TEL/FAX 06-6100-3003/06-6100-3004

事業所(市町村担当課)名		
住 所		
電話番号		
担当者(回答者)名	職種	

## 問1 H26 年度における相談実績について、可能な範囲でお答えください。(対象年齢は、18歳以上)

a: 全相談者数	b: a の内、発達障 がいの診断が ある方の人数	c: aの内、発達障がいの 疑い (グレーゾーン) の ある方の人数 各窓口の判断で可		d: 诊断がある方の内 X得者数 精神保健福祉手帳	
人	<u></u>		A : <u>人</u> B1 : <u>人</u>	1級:人 2級:人	

		1				T			
						B2:_	人	3級:	人
問2	問1のbおよび	ドcの方対象に信	います。?	初回相談	は、誰から	らの相談です	すか?	多い順に(	)内に
	順番をつけてく	(ださい。							
	1) 本人(	)	4) 近隣	 針民(	)	7)	支援機関	( )	
	2)家族(	•	5) 教育		)		行政機関		
	3) 親族(		6) 医療		)	- •	その他		
問3	どのような相談	がありますか?	該当する	るものす	べてにOE	印をしてくだ	<b>ごさい。</b>		
	1)本人自	身の将来の不安			10) 就	学に関わる	困難さや	ニーズ	
		親族)の本人に	対する将来	の不安					
		(金銭管理含)(				ート・ひき			
		系等家庭内のこの				人関係やコ	_	ーションの	
		.,, 5, 6, 2, 6, 7	_			難さやニー			
	5)危機管理	浬(消費者トラ)	ブル等)		14) 発	達障がいの	特性の理	解や自己理解	
	6) 診断が	医療に関するこ	<u>لــ</u>		15) ス	トレスやニ	次障がい	の問題	
	7)生活面(	の困難さやニー	ズ(衣食住	<u>=</u> )	16) 社	会的適応を	妨げる状	況や行為	
					(依	存、迷惑行	為等)		
	8) 制度の	利用や申請に関	すること		17) 反	社会的行為	(触法行	為等)	
	9)周囲(1	職場含)の対応は	や理解						
	マの州(白巾に	ご記入ください	,,						
		-Cab//\//cGv							
	l								
問4	現在の成人期発	経達障がい者へ <i>0</i> .	)村  淡体	こついて	どのように	こ感じており	られますが	5).5	
		号に〇印をして<				_,_,		•	
					4\ <del>t=</del>	キルが ウェ	キアハた		
	1) 対応で		Z			まり対応で kmできてい		V I	
		ね対応できてい? ヒキいえない	<u>ට</u>		O) XI	応できてい	/AV 1		
	: 3)どちらん	ヒキいえない							

問5	成人期発達障がい者の相談対応にあたりどのような課題や困りごとがありますか?課題だと思われ
	るもので優先順位の高いものから3つ選び、番号に〇印をしてください。

- 1) 福祉制度の変化が激しいため、知識が追い付けない
- 2) 相談二ーズの増大に比して、相談対応ができるスタッフがいない
- 3) 発達障がいに関する知識や経験が不足している
- 4) 発達障がいに関する研修の機会が少ない
- 5) 発達障がいの疑いはあっても未診断の方への対応が難しい
- 6) ケースへの対応について相談できる発達障がいの専門機関が身近にない
- 7) 発達障がい者のニーズに対応できる身近な社会資源が不足している
- 8) 発達障がい者のニーズに対応できる社会資源の情報を知らない
- 9) 発達障がい者の相談がないため、課題は特にない

その出	的(自由にご記入ください)		
C 9 7 1 C		 	 

- 問6 成人期発達障がい者の相談対応にあたり最も必要だと思われるものを3つ選び、番号に〇印をしてください。
  - 1) 地域自立支援協議会で、発達障がいに関する地域の課題整理や情報交換を行う
  - 2) 市町村での発達障がい者の受け皿となる社会資源を開拓する
  - 3) 発達障がいの診断や診療を行う専門医療機関を増やす
  - 4) 発達障がいの相談対応ができるスタッフの増員
  - 5) 発達障がいの相談対応ができるスタッフのスキルや専門性の向上
  - 6) 発達障がいに関する専門機関や市町村の相談対応窓口との連携
  - 7) 専門機関や専門家による助言が身近で受けられるシステム
  - 8) 発達障がいの相談がないため、わからない

その他(自由にご記入ください)	

問7	成人期の発達障がい者(主に知的障がいを伴わない場合)の"生きづらさ"感じておられますか? 自由にご記入ください。	は、どのような点だと <b>くウラ面につづく</b> >
門Q	今後、必要だと思われる社会資源やサービスについて、具体的にご記入くだる	<b>★!.</b> \
		⊇V 1₀
問9	最後に、大阪府における発達障がい者への支援に関するご意見等ございま ください。	したら、自由にご記入

大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか

# ご協力いただき誠にありがとうございました。